

与 教 学 第 128 号

平 成 27 年 4 月 24 日

文部科学大臣 殿

鹿児島県与論町長 南 政 吾

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート (総括票)

1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

○	計画どおり実施できた。
	計画したが、一部実施できなかった。
	計画したが、全部実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目 標	達成状況
小学校	100	100
中学校	100	100
高等学校	—	—
特別支援学校	—	—
幼稚園	—	—

【 所 見 】

小・中学校については、計画通り平成24年度に耐震診断を行い平成26年度に校舎及び屋体について耐震補強を計画通り実施することができた。評価委員等からも耐震について安心できるとの声も頂くことができたが、塗装が改修部だけであったため全体的な塗装を望む声もあがった。また、依然として建物の老朽化が懸念されており、補強箇所以外の安全性についても指摘される声が多く寄せられた。

今後、学校施設の安全点検や学校からの報告等により、修繕・修理を迅速に行えるように取り組んでいくこととする。

施設整備計画 事後評価シート (総括票)

2 事後評価の時期及び方法について

平成27年4月15日～4月24日に本町の事後評価委員(教育委員会教育長,局長,小中学校代表,PTA会長)により,事後評価を実施した。
その結果を本町ホームページで公表するとともに,今後の施設整備計画の検討も実施した。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映について

耐震補強工事については平成26年度で全校終了しているが,建物の老朽化が常に懸念されており,学校施設の安全点検に努めなければならない。
既存施設については,児童生徒の安全安心を第一に考え今後,長寿命化事業等により大規模改修を計画的に行っていきたい。

施設整備計画 事後評価シート（個別票）

- 1 与論町公立学校等施設整備計画
- 2 与論町
- 3 平成26年度
- 4

都道府県名	鹿児島県
市町村名	与論町

※この個別表については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
那間小学校校舎	①	0501	地震補強	校	R	○	平成26年9月11日				
与論中学校	①	0501	地震補強	校	R	○	平成26年9月11日				
茶花小学校	①	0501	地震補強	校	R	○	平成26年10月1日				
与論小学校	①	0501	地震補強	屋	R	○	平成27年2月18日		工期	2015/1/8	工事の追加による 工事費の増による 工事の追加による 工事費の増による
那間小学校屋体	①	0502	(特)地震補強	屋	R	○	平成27年2月18日		工事費	2015/1/8	
									工期	2015/1/8	
									工事費	2015/1/8	